

平成26年度 第2回 津高東京同窓会役員会の記録

日 時 2015年1月31日(土) 14:00～15:32

場 所 品川区・第一区民集会所 第1集会室

出席者 (36名) (敬称略、卒年順、同一卒年内は50音順に掲載)

S27 野垣内武志、S30 吉田不二夫、S34 波多野進、S38 中村孝(副会長)、S39 小川洋、S39 林暁、
S40 櫻井隆三、S40 宮村智、S40 渡邊智恵子(副会長)、S41 落合徹(事務局)、
S41 田村正衛(会長)、S41 脇田允夫(副会長)、S42 稲垣學、S42 中橋卓嗣、S43 金丸直明、
S43 田村知子、S44 丹羽敏春、S44 倉岡美保子、S45 奈良谷弘(事務局長)、
S51 井上久美(副会長)、S51 森田和久、S52 中津原平美、S52 正岡文人、S53 神谷千歳、
S53 村主英明(事務局)、S53 田中紀美子、S53 田中成幸、S53 日置俊哉(事務局)、S55****、
S55 吉岡恭子、S55 吉川慎二、S56 金丸敦子、S56 谷井玲、S56 松井良重、S56 宮崎恭一、
H02 田中真一郎

配付資料

- ①議事次第
- ②津高東京同窓会会則改定案
- ③平成27年度津高東京同窓会企画案の概要
- ④案内状送付先リストの充実について
- ⑤参考資料(平成25・26年度役員／卒年幹事)

田村会長より

今回、津高東京同窓会運営の実態に合わせて、会則を改定しようとしている。

昨年(親睦会)は42年卒・54年卒の輪番幹事の皆さんに頑張ってもらったが、会員からも良かった、楽しめた、という感想をいただいた。今年も43年卒・55年卒の輪番幹事の方々が熱心に企画を検討されており、多くの方々が出席されることを期待している。

皆様のご支援を賜りたい。



議事内容

1. 会則の改定

S53 村主(事務局)

(議題(1)①津高東京同窓会会則改定、「津高東京同窓会会則 改定案」に従って説明)

主な変更点(趣旨＝実態に合わせるため、機動的に運営するため)

○役員構成の変更(相談役・特別顧問、年度幹事(卒年幹事))

○卒年幹事及び代議員に関する規定の追加

○機関の変更(会員総会・役員会→総会・役員会・代議員会)

- ・重要な事項は(役員会が)代議員会の承認を得て総会に報告
- ・役員は代議員会で選出
- ・会則は代議員会で改定可能
- ・役員会と代議員会は合同で開催可能

○事務局の規定の追加

○会計年度の変更(6月～5月 → 4月～3月)

S45 奈良谷(事務局長)

ご意見ご質問は、後ほどまとめて出していただく。

2. 役員の改選

S45 奈良谷(事務局長)

5月の総会をもって、現役員の任期2年が満了となる。田村会長は1期2年が経過するところなので、再任をお願いしたい、他の役員については、今日のところは会長に一任し、総会において提案することで、ご賛同いただきたい。

(出席者の拍手により賛意を得た。)

S41 田村(会長)

副会長は、現事務局長の奈良谷さんをお願いしたいと考えている。会長不在の場合に代行していただく。

S45 奈良谷(事務局長)

事務局の新体制についても、総会の当日にお諮りする。

S42 中橋

奈良谷さんの後任として事務局長を務めるのは誰か。

S41 田村(会長)

それも検討中である。事務局に入っただけの方がいたら、是非お願いしたい。

3.「親睦会」の企画案

S45 奈良谷(事務局長)

今まで一括りにしていた「総会」と「親睦会」を、分けて呼ぶことにする。

S43 金丸(輪番幹事)

(「平成27年度津高東京同窓会企画案の概要」に従って説明)

幹事打合せを4回開催して検討してきた。参加人数は200名を目標としている。学生の参加は前回の2倍、16名程度を見込む。会員は前年度と同じ7000円(大学生は無料)とする。

4. 案内状送付先リストの充実

S53 村主(事務局)

「名簿」ではなく「案内状送付リスト」という名称にして、案内状送付のみに使用することを明確にする。(「案内状送付先リストの充実について」に従って説明)

若い会員の参加を増やすことに焦点を当てた取り組みを行う。平成年間の卒業生たちとの交流を促進したい。

5. 質疑応答(会則改定)

S41 宮村

会則改定についての確認だが、総会の権限が無くなる、ということか。また、代議員会を単独で開くことはあるのか。

S30 吉田

代議員会と役員会の議決権が曖昧である。

S55 吉川

7条と8条の順番は逆が良い。6条が役員選出、8条が役員任期で、7条が卒年幹事では、流れが切れる。それから、今回の総会で会則を改定したら、権限の無い総会で役員を承認することにならないか？

S44 丹羽

10条に規定した「総会」「役員会」「代議員会」で何をするのかが不明確である。

S30 吉田

他のOB会や同窓会の例を見ても、概ね、総会の議決権は無く、役員会が決めている。

S41 田村(会長)

総会では、何かを承認するよりも、結果を報告して「よくやってくれた」という意味で拍手をいただくのが良かろうと思う。津高東京同窓会をどうするか、文言よりも活動そのものについて、しっかりとした構想を作る必要がある。

S41 宮村

改定案では、重要事項は総会に報告することになっているので、それで良かろうと思う。

S41 落合(事務局)

同窓会の会計報告や、各卒年の寄附金の集計なども、重要事項だ。代議員会で承認して総会に報告する形となる。

S41 田村(会長)

会計報告は、津高東京同窓会ホームページにも掲載し、総会に報告する重要事項である。

S53 村主(事務局)

会員が何か提案したいことがあったとしても、現状の総会では難しい。改定案では、代議員会に提案して議論してもらえるようになり、会員の意向が反映されやすくなる。代議員会と役員会は合同開催とする想定であり、今日の役員会と同じ形。代議員は、卒年幹事に人選を任せる。役員会の役割がもともと不明確だったが、10条(2)「重要な事項については、代議員会の承認を得て、総会に報告する」という一文で全てが表現されていると認識していただきたい。吉川さんのご意見はテクニカルな問題なので、改定後の会則は総会終了後に発効するなどの対応を考える。

6. 質疑応答（親睦会、総会の運営）

S43 金丸(輪番幹事)

会場の東海大学校友会館と、2月下旬に、段取りや予算などについて打ち合わせて準備する。

出し物が浪曲とワインなので、会場での事前準備が必要となる。

現在、事務局運営のために寄附をいただいているが、親睦会の運営は、会費のみでまかなっている。消費税も上がるので、今後も会費7,000円で踏ん張れるかどうか心配だ。会費の値上げも難しいので、親睦会の運営にも寄附をしてもらうことを考えても良かろう。

S40 渡邊智恵子(副会長)

「親睦会」という名称だと、気が楽になる。去年はとても楽しかった。今年の企画も楽しみにしている。

S41 中橋

過去の総会で、当日のアンケートはやっていたか。当日でなく後日でもよいという形で、(当日の親睦会の感想ではなく)今後の同窓会に望むことを、メール連絡や同級生経由で、役員会や事務局に伝えられる仕組みが欲しい。今日のような役員会の存在を知らず、何か言いたいことがあっても誰に言えばよいか分からない会員もいると思う。

S45 奈良谷(事務局長)

事務局で預からせていただく。

S30 吉田

総会案内状を送っても回答が無いものが、1, 2 3 0 通もある。1 通 1 0 0 円とするとかなりの金額になるが、これは費用の無駄ではないか。総会出席者が負担することになる。3 回連続して回答が無ければ送付を止める、などの対応をしてはどうか。

S41 落合(事務局)

前の事務局体制では、3 回連続で回答が無ければ案内状の送付を止める、というルールがあった。これでは永遠に案内状を送らないことになってしまう。しかし現在では、回答が無い人でも、その後いずれ出席されることもあろうと考えて、当面は案内状を送ることとしている。なお、総会案内状の送料などは全て寄附でまかなっている。総会出席者が支払った会費は、全て総会・親睦会の運営に充てられている。返信ハガキは料金後納扱いを採用しているので、返信が来ない分は無駄な出費にはなっていない。

S56 宮崎

昨年 8 月に津の本部同窓会で幹事学年を務めたが、会費の額について議論になった。受益者負担という考え方なのか。

S41 落合(事務局)

総会・親睦会の運営費用は、会費で全てをまかなう、出席者負担ということだ。

S56 宮崎

本部同窓会では、会費は安く設定されており、幹事年が不足分を負担することもあるので、一生懸命に広告や寄附を集めている。

S41 田村(会長)

今どき、大きな会社で同窓会への協賛金を出すのは、あまりないだろう。本部同窓会で、広告や寄附を出してくれるのは、個人企業や弁護士、医者が多い。

S42 中橋

今の会場が 2 0 0 名で一杯だ(*)。他会場に変更した場合、高くなるか安くなるか？

(*)着席形式の場合

S41 田村(会長)

東京では会場費が高つく。それを反映して親睦会費が高くなると、参加者が少なくなる。若い人たちが、多数参加されるようにしたい。

S42 中橋

抜けている年次があり、卒年幹事の充実が重要だろう。

S44 倉岡

親睦会の企画で講演する人には、高名な学者などの肩書が必要なのか。自分たちは平成 2 8 年

総会の輪番幹事だが、自分たちの年次にはふさわしい人が見あたらない。

S42 中橋

昨年の総会で唄った2名は、プロの声楽家と、身近な存在の歌手だった。

S41 田村(会長)

予算の範囲内で、みんなが楽しめるものであれば、輪番幹事が自由に企画してもらいたい。

S45 奈良谷(事務局長)

同級生でなく、津高卒業生でなくても、またプロでなくても構わない。名古屋同窓会に出演した「ブルーウィスカーズ」は、幹事学年ではなかった。

S41 田村(会長)

副輪番幹事学年(*)の、総会への出席予定はどうか？

(*)受付などを担当するための人数が必要

S55 吉川(副輪番幹事)

仕事や子供のことで多忙な年代であり、人数的には厳しいが頑張って集めたい。三重県から出てきてもらうことも考えている。

S51 井上久美(副会長)

案内状発送のため、学年の名簿は、いつ頃までに提出すれば良いか？

S53 村主(事務局)

案内状の発送は、4月中旬を考えている。

S55 吉川(副輪番幹事)

恩師への正式な招待状について、本部同窓会事務局から尋ねられている。

S53 村主(事務局)

本部同窓会事務局を通じて交渉する場合は、招待状を預けて欲しい、という趣旨だと思うが、今までは輪番幹事から恩師に直接コンタクトを取っていた。もし招待状を出す必要があれば、会長名で出すべき。

以上